

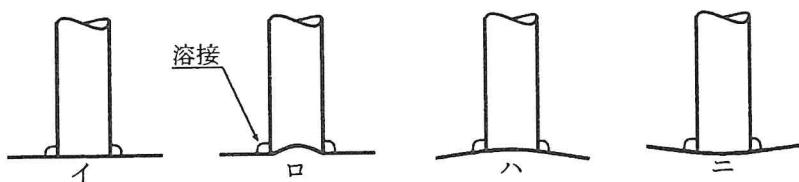
1級問題 共通

【広告物の種類及び構造】

- 1 野球場内、遊園地内、駅のホームなどに表示された広告物は、屋外広告物に該当する。 (18年度 真偽)
- 2 屋上広告板(塔)、壁面広告板、突出広告板、吊下広告板、建植広告板、シートポスター広告板、立看板、電柱広告板は、いずれも広告板の設置位置による分類である。 (17年度 真偽)
- 3 自動車の車体に表示される広告は屋外広告物に該当しない。 (17年度 真偽)
- 4 建築物の外壁に光を投影することによって表示する広告物は屋外広告物である。 (16年度 真偽)
- 5 広告物の特色に関する記述として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 広告塔は、遠望効果を狙うものだが、建物屋上設置広告塔は景観を阻害する恐れがある。
 - ロ 突出広告板は、商店や会社への誘導機能を果たし、繁華街の主要な広告物なので街並みに配慮する。
 - ハ センスのあるデザインによって統一された広告併用街路灯は、街のイメージを高める。
 - ニ 電光広告板は、情報機能効果を優先させるため、景観調和の対象外となる。
- 6 広告板の形態による分類として、正しい組合せはどれか。 (17年度 択一)
- イ 平型広告板、箱型広告板、立体広告板、特殊広告板
 - ロ 屋上広告板、壁面広告板、突出広告板、吊下広告板
 - ハ 塗装広告板、プラスチック広告板、粘着シート広告板、金属銘板
 - ニ 建植広告板、店頭広告板、立看板、電柱広告板

【広告物の素地の製作方法】

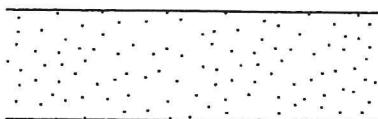
- 7 木枠布張り広告板の木枠の中棧は、枠と面一にする。 (18年度 真偽)
- 8 鉄骨組の屋外広告物は、鋼材枠の現場溶接を避け、できるだけ工場溶接で製作するとよい。 (17年度 真偽)
- 9 ハンマードリルは、コンクリート壁面に穴をあけるのに使用する。 (16年度 真偽)
- 10 めっき加工をしないで表面仕上げする真鍮文字はどれか。 (18年度 択一)
- イ みがき金
 - ロ 赤銅
 - ハ 青銅
 - ニ ホワイトブロンズ
- 11 鉄骨金物の製作において、 $300 \times 300 \times t3$ の鉄板中央にΦ30のパイプ(鋼管)を溶接した場合の鉄の特性を図示したものとして、正しいのはどれか。 (17年度 択一)



- 12 鉄アングル枠にアルミ板を貼る場合、適切でない方法はどれか。 (16年度 択一)
- イ リベット止め
 - ロ タッピングしてビス止め
 - ハ スポット溶接
 - ニ テクス(タッピングスクリュねじ)締め

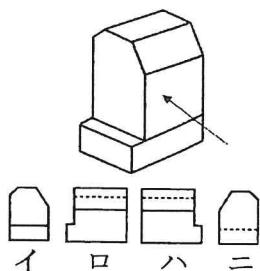
【広告物の製作図の作成方法】

13 日本工業規格（JIS）の建築製図通則によれば、下図は、左官仕上げの材料構造表示記号である。
(18年度 真偽)



14 構造計算書は、設計図に含まれる。 (16年度 真偽)

15 日本工業規格(JIS)の製図投影法における第三角法の描き方として、矢印の方向から見た図はどれか。
(18年度 択一)



16 平面的な描法の図面はどれか。 (17年度 択一)

- イ 外観図
- ロ 透視図
- ハ 投影図
- ニ 等測図

17 透視図の作図に関する用語の組合せのうち、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ G. L. - 基線
- ロ H. L. - 垂直線
- ハ V. P. - 消点
- ニ S. P. - 立点

【広告物の取り付け方法】

18 独立広告塔のベースプレートのボルト穴とアンカーボルトのずれを避けるためには、基礎鉄筋枠にアンカー型でアンカーボルトを固定するとよい。 (18年度 真偽)

19 公道上における屋外広告物の取付工事は、交通に支障がなければ、所管する警察署長の許可は不要である。
(16年度 真偽)

20 広告板のつり下げに使用するつりボルトの耐力を材質により比較すると、大きいものから順に並べたものは、次のどれか。
(18年度 択一)

- イ SS400 > SUS304 > 鑄物製
- ロ SUS304 > 鑄物製 > SS400
- ハ 鑄物製 > SS400 > SUS304
- ニ SUS304 > SS400 > 鑄物製

21 建植板の柱を埋め込む方法として、最も適切なものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 根元を基礎コンクリートで固める。
- ロ 根元に根がらみを付け、基礎コンクリートで固める。
- ハ 根元に根切りをして、基礎コンクリートで固める。
- ニ 根元を柱の1/2以上埋め込む。

【広告物の安全に関する力学の基礎】

- 22 建築物外壁に取り付けた広告物に作用する地震力は、広告板とその支持構造物の重量の合計よりも大きい。
(18年度 真偽)
- 23 風圧力は、下記の式で求められる。
風圧力=速度圧÷風力係数 (16年度 真偽)
- 24 表面積の大きな広告物の取付けに関する記述として、適切なものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 風圧力よりも積雪荷重の影響が大きい。
ロ 風圧荷重には耐えるが、地震力には非常に弱い。
ハ 風圧力の影響をより重視しなければならない。
ニ 風圧力よりも自重を考慮しなければならない。
- 25 文中の（）内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
物に作用する「力」には、モーメント（）とがあり、モーメントとは「力の効率」ともいわれるものであり、もう一方は「方向性をもっている力」である
- イ スカラー量
ロ ベクトル
ハ 分力
ニ 偶力
- 26 文中の（）内に当てはまる語句として、最も適切なものはどれか。
一般に広告物に作用する力のうち、地震は広告物の自重に、風圧は広告物の（）や表面積に応じて大きくなる。
(16年度 択一)
- イ 形態
ロ 容積
ハ 材質
ニ 断面積
- 【材料】
- 27 LEDは、高輝度であるが反射サインには適していない。 (18年度 真偽)
- 28 広告面の素材として多用されている樹脂低発泡材を芯にサンドイッチしたスチール複合板は、マグネット利用可能なホワイトボードとしても使用することができる。 (18年度 真偽)
- 29 塗装の塗替えが困難な箇所や海岸近くの場所に設置する広告物の鋼材には、溶融亜鉛鍍金(ドブヅケメッキ)が効果的である。 (17年度 真偽)
- 30 アルミニウム製ブラインドリベットは、合金製ブラインドリベットより強度が高い。 (17年度 真偽)
- 31 LEDは、数ボルトの低電圧光3原色が高輝度でバランス良く発光できるようになったため、映像、標識など様々な分野に用途が広がり、ネオンサインのあり方にも影響を与えている。 (17年度 真偽)
- 32 合金製ブラインドリベットは、アルミニウム製ブラインドリベットより強度が高い。 (16年度 真偽)
- 33 FRP(強化プラスチック)は、屋外広告板用の素材として適さない。 (17, 16年度 真偽)
- 34 木製浮き出し文字の素材として、最も適しているものはどれか。 (18, 16年度 択一)
- イ かつら材
ロ ひのき材
ハ ラワン材
ニ 赤松材
- 35 樹脂低発泡材をサンドイッチしたアルミ複合板の芯材はどれか。 (18年度 択一)
- イ ポリスチレン
ロ ポリエチレン
ハ スチロール
ニ ポリプロピレン

36 日本工業規格(JIS)に規定する形鋼の分類として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ V形鋼
- ロ H形鋼
- ハ I形鋼
- ニ T形鋼

37 屋外広告物の基礎コンクリートを造る際の記述として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 練りまぜから打終りまでの時間は、25℃以上で120分を限度とする。
- ロ 打込み時のコンクリートのやわらかさ等による施工軟度をワーカビリティという。
- ハ 生コンの強度はコンクリートを打ち込んだ日から3週目の強度をいう。
- ニ コンクリート品質が常用の場合のスランプは18cm以下とする。

38 屋外広告にも使用が多くなったLEDの発光波長として、誤っているものはどれか。

- 色 波長(nm) (17年度 択一)
- イ 青 470
 - ロ 赤 660
 - ハ 黄 588
 - ニ 緑 750

39 非鉄金属の各種素材に関する記述として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ アルミニウムー比重2.69と小さく、加工が容易で軽い。
- ロ 銅ー炭酸ガスにより、緑青ができ、耐食性が良くなる。
- ハ 真鍮ー銅とすずの合金、銅より硬く、耐食性も鉄より優れる。
- ニ 亜鉛ー表面に鉛基性炭酸塩の皮膜を生じると、内部の酸化を防ぐ

40 紙の規格に関する記述として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ B1判の面積は、A1判の1.5倍である。
- ロ B1判の長辺は、A1判の長辺の1.5倍である。
- ハ B1判の1辺と、A1判の1辺との関係は、黄金分割比である。
- ニ A判とB判の面積や長さは、無関係である。

41 コンクリートの耐久性を左右する要因でないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ ひび割れ
- ロ 凍結
- ハ 中性化
- ニ ブリージング

42 合成樹脂ベースの塗料シンナはどれか。 (16年度 択一)

- イ 蒸留水
- ロ エタノール
- ハ ミネラル・スピリット
- ニ ボイル油

43 塗料材料に関する記述として、正しいものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 油性のパテには、調合ペイントを用いて調色する。
- ロ 調合ペイントは、乾燥剤の量を多く入れるほど素早く乾燥する。
- ハ 合成樹脂調合ペイントは、乾燥するとぬれ色より薄くなる。
- ニ 調合ペイントを薄めるためには、ラッカーシンナを用いると早く乾燥する。

【コミュニケーションとデザイン】

44 ダグマーの広告効果の階層モデルによれば、我々がある行動を取るときは、未知名→知名→理解→確信を経て行動にいたるとしてされている。 (18年度 真偽)

45 「AIDMA(アイドマ)の法則」によれば、広告効果の階層モデルは、注目→興味→記憶→欲求を経て行動にいたる。 (17年度 真偽)

46 「A I DMA(アイドマ)の法則」の最初のA、I、Dが表す意味の組合せとして、正しいものはどれか。

- | | | |
|-----------------|--------------|--------------|
| A | I | D |
| イ Attention(注目) | Image(イメージ) | Design(デザイン) |
| ロ Attention(注目) | Interest(興味) | Desire(欲求) |
| ハ Action(行動) | Image(イメージ) | Design(デザイン) |
| ニ Action(行動) | Interest(興味) | Desire(欲求) |

(18年度 択一)

47 調和についての解説文の()内に当てはまる語句の組合せとして、適切なものはどれか。

調和とは「うまくつり合い、(a)がととのっていること。(b)又は衝突なく互いに程よく(c)すること」

- | | | |
|------|----|----|
| a | b | c |
| イ 部分 | 対立 | 調和 |
| ロ 全体 | 否定 | 共存 |
| ハ 部分 | 反目 | 構成 |
| ニ 全体 | 矛盾 | 和合 |

(17年度 択一)

48 広告物のコミュニケーションの成立に関する記述として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 知覚対象はメッセージを持っている。
ロ メッセージはイメージを触発する。
ハ イメージを了解することによって概念が生まれる。
ニ コミュニケーションの目的は、概念の否定である。

【デザインの基礎】

49 黄金分割では、線分AB上の点Cを求めるとき、 $AC : BC = AB : AC$ となるようにする。

(18年度 真偽)



50 図の構成において、点は位置を示し、線は方向を示し、面は大きさを示す。 (17年度 真偽)

51 レタリングにおけるスペーシングとは、語句と語句との間の調整をいう。 (17年度 真偽)

52 単純な表現によるデザインは、力強さより優美さを表現する。 (16年度 真偽)

53 デザインに関する記述中のイ～ニの()のうち、誤っているものはどれか。

デザイン構成における調和とは、イ(2つ以上)の要素又は部分のロ(相互関係)が分離やハ(結合)し合わないで、統一された全体としてのニ(感覚的効果)を発揮しているときに、調和しているという。 (18年度 択一改題)

54 文中の()内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

シンメトリーとは、左右の(A)が全く(B)であったり、同じ(C)が放射状にレイアウトされている場合をいう。

- | | | |
|------|----|----|
| A | B | C |
| イ 対称 | 定形 | 対称 |
| ロ 形態 | 均衡 | 対称 |
| ハ 対称 | 均等 | 形態 |
| ニ 形態 | 対称 | 形態 |

(16年度 択一)

55 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

デザイン構成において、2つ以上の要素又は部分の相互関係が、分離したり排斥し合わないで、統一された全体として感覚的効果を発揮しているとき、()という。 (16年度 択一)

- イ 「対比している。」
ロ 「シンメトリーである。」
ハ 「ダイナミックである。」
ニ 「調和している。」

【色彩】

- 56 補色関係にある2つの色を混合すると灰色に近くなる。 (18年度 真偽)
- 57 マンセル記号5B6/5は、濃い緑の系統の色を表す。 (18年度 真偽)
- 58 マンセル色彩表示において、赤の彩度は、10Rより5Rのほうが低い。 (17年度 真偽)
- 59 補色関係にある2つの色を混合する灰色に近くなり、これを減法混色という。 (17年度 真偽)
- 60 マンセルカラーシステムにおいて、各色相の純色は、無彩色軸から等距離になっている。 (16年度 真偽)
- 61 ビビットな色調は、「はっきりとした」、「鮮やかな」、「強い」などのイメージを持っている。 (16年度 真偽)
- 62 色の対比に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 赤色の背景の中の黄赤は、黄みを帯びて見える。
 - ロ 黄色の背景の中の黄赤は、赤みを帯びて見える。
 - ハ 紫色の背景の中の明るい灰色は、紫がかった見える。
 - ニ 黄色の背景の中の明るい灰色は、紫がかった見える。
- 63 マンセル記号による色の表記「5R 4/10」の説明文の()内に当てはまる語句の組合せとして正しいものはどれか。
5Rは(a)、4は(b)、10は(c)を表している。
- | | | | |
|---------------|---|---|-----------|
| a | b | c | (17年度 択一) |
| イ 朱赤 中明度 中彩度 | | | |
| ロ 金赤 中明度 高彩度 | | | |
| ハ 濃い赤 低明度 低彩度 | | | |
| ニ 紫系赤 高明度 高彩度 | | | |
- 64 色彩に関する記述として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)
- イ 赤色と紫色は、補色関係にある。
 - ロ 光の3原色は、赤、黄、青である。
 - ハ 進出・後退の視覚現象は、色彩の持つ特性ではない。
 - ニ 色相、明度、彩度を色の3属性という。
- 65 文中の()内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。
大きく見える色を膨張色(進出色)、小さく見える色を収縮色(後退色)というが、これらは()によって左右されることが著しい。 (16年度 択一)
- イ 色相
 - ロ 明度
 - ハ 彩度
 - ニ 原色
- 66 混色に関する記述のうち、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)
- イ 混色には、加法混色、減法混色及び中間混色と呼ばれるものがある。
 - ロ 絵具や染料などの物体色は、混ぜ合わせると色が暗くなる。
 - ハ 中間色は、板面を色区分したものを回転させて確認することができる。
 - ニ 織物やカラー印刷の網点などの混色は、加法混色に属する。

【広告デザイン】

- 67 レタリングにおけるスペーシングとは、行間を調整することをいう。 (18年度 真偽)
- 68 企業の新しい理念構築に始めるイメージやコミュニケーション・システムを意図的・計画的に作り出す経営戦略を“CI”(コーポレート・アイデンティティ)という。 (18年度 真偽)
- 69 企業行動の表出のシステムのCIとは、コーポレート・イメージの略である。 (17年度 真偽)
- 70 ローマ字書体の斜体は、一般に、イタリックと呼ばれている。 (16年度 真偽)
- 71 ローマ字書体のラインシステムの中で、小文字の高さを決めるため特に重要なラインをミーンラインという。
(16年度 真偽)

72 ローマ字書体が活字として製作された時代の順序として、正しいものはどれか。 (18年度 択一)

- イ オールドローマン→モダンローマン→ゴシック→サンセリフ
- ロ ゴシック→オールドローマン→モダンローマン→サンセリフ
- ハ ゴシック→オールドローマン→サンセリフ→モダンローマン
- ニ オールドローマン→ゴシック→サンセリフ→モダンローマン

73 サイン文字の可読性に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 視認性の高い文字は必ずしも可読性が高いとは限らない。
- ロ 照明の輝度を上げると文字の可読性は落ちる場合がある。
- ハ 自動車から見る場合、スピードを上げるほど可読性は高まる。
- ニ 夜間、内照式サインの場合、黒地に白抜きの特大ゴシック体は、可読性が低い。

74 書体デザインとそれが誕生したときの時代思想との組合せとして、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ モダンローマン体－情報化時代(現代)
- ロ サンセリフ体－機能主義のデザイン思想
- ハ ゴシック体(ドイツ文字)－中世キリスト教文明
- ニ オールドローマン体－古代ギリシャ、ローマ文明

75 文中の（ ）内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

2本のネオン管が分かれて見える限界は、その間隔の1000～1500倍と言われている。ネオン管文字の「田川」が1000m離れて読めるためには、文字高は最低（ ）mm以上必要である。 (17年度 択一)

- イ 1
- ロ 2
- ハ 4
- ニ 8

76 文中の（ ）内に当てはまる語句の組合せとして、正しいものはどれか。

屋外広告物や公共サイン等は、案内・誘導・指示・禁止などの機能があるが、これらとともに、町の個性を創り、その(A)に深く係わるものとして、(B)が重視されている。

- | A | B | (16年度 択一) |
|------------|----------|-----------|
| イ 販売促進 | メッセージ | |
| ロ アイデンティティ | 販売促進 | |
| ハ 都市化 | ライトアップ | |
| ニ 景観形成 | アイデンティティ | |

77 ヘルベチカ書体はどれか。

(16年度 択一)



【美観風致】

78 地域における景観の特性を把握するためには、自然、生活文化、空間などの要素を考慮することが重要である。
(18年度 真偽)

79 ランドマークとしての人工的な建造物は、地域における景観の特性を把握する上では特に考慮する必要はない。
(17年度 真偽)

80 地域における景観の特性を把握するためには、自然、生活文化、空間などの要素を考慮することが重要である。
(16年度 真偽)

81 風致の維持は優れた都市景観を創出する上で重要であるが、「風致」の内容として、適切でないものはどれか。
(18年度 択一)

- イ 自然が豊かな丘陵
- ロ 地理的意義のある田園
- ハ 緑が豊かな低密度住宅地
- ニ 歴史的建造物としての社寺

82 良好的な都市景観を創出する手段である「美観風致の維持」の「美観の維持」に関する記述のイ～ニの()のうち、適切でないものはどれか。
イ (都市の特性)に応じ、ロ (建築物の配置、構造、意匠)などがハ (市街地における道路、公園等の公共施設)などと調和と均齊のとれたものとするなど、主としてニ (都市における自然環境)を維持しようすること。
(17年度 択一)

【関係法規】

83 屋外広告物関係法令によれば、適用除外広告物である限り、掲出に際して都道府県知事の許可は必要ない。
(18年度 真偽)

84 屋外広告物関係法令によれば、条例によって、広告物及びこれを掲出する物件の意匠、色彩については規制できないこととなっている。
(17年度 真偽)

85 屋外広告物法や都市計画法でいう「美観」とは自然美、「風致」とは人工美を指している。
(16年度 真偽)

86 野球場内、遊園地内、駅のホームなどに表示された広告物は、屋外広告物に該当する。
(16年度 真偽)

87 屋外広告物関係法令等による景観計画に関する記述として、誤っているものはどれか。
(18年度 択一)

- イ 景観法に基づき定められる。
- ロ 景観に関する総合的な計画である。
- ハ 屋外広告物の表示や掲出に関し、制限を設けることができる。
- ニ 屋外広告物条例に適合した広告物であっても、景観計画に適合しなければ、掲出が制限される。

88 平成16年に改正された屋外広告物法の目的に関する記述条文として、最も適切なものはどれか。
(17年度 択一)

- イ 美観風致の維持と公衆に対する危害の防止を目的としている。
- ロ 良好的な景観形成と、風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。
- ハ 良好的な景観形成と、美観の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。
- ニ 良好的な景観形成と、美観風致の維持、公衆に対する危害の防止を目的としている。

【安全衛生】

89 インクジェットプリンタを使用する作業では、有機溶剤作業主任者の選任や排気装置の設置を含む措置が必要となる場合がある。
(18年度 真偽)

90 労働安全衛生関係法令によれば、事業者は、労働者につり上げ荷重が1トン未満の移動式クレーンの運転業務に就かせる場合は、安全のための特別教育を受けさせなければならない。
(18年度 真偽)

91 労働安全衛生関係法令によれば、作業床の高さが10m以上の高所作業者の運転の業務は、技能講習を修了したものでなければ、行ってはならない。
(17年度 真偽)

92 労働安全衛生関係法令によれば、屋内作業場において有機溶剤を取扱う業務については、作業場の数に関係なく一社一人の有機溶剤作業主任者を置くことが義務付けられている。
(17年度 真偽)

93 労働安全衛生関係法令によれば、事業者は、労働者につり上げ荷重が1トン未満の移動式クレーンの運転業務に就かせる場合は、安全のための特別教育を受けさせなければならない。
(16年度 真偽)

94 塗装に使用した有機溶剤や油性塗料の付着したウエスを1箇所に積み上げておくと、自然発火することがある。
(16年度 真偽)

95 文中の（ ）内に当てはまる語句として、正しいものはどれか。

労働安全衛生関係法令によれば、作業床の高さが（ ）以上の高所作業車の運転は、技能講習を修了したものでなければ、その業務に就くことができない。（18年度 択一）

- イ 2m
- ロ 3m
- ハ 5m
- ニ 10m

96 作業場内の環境を快適に保つことは、従業員の安全や健康、効率の良い作業を継続する上で重要である。屋内作業場の環境と、環境を快適に保つために必要な措置の組合せが適切でないものはどれか。（17年度 択一）

環境	措置
----	----

- イ 空気環境—粉じんや臭気について、不快と感ずることのないようにする。
- ロ 視環境——採光、色彩環境、光源の性質にも配慮する。
- ハ 温熱環境—作業の内容、季節にかかわらず常に一定の温度に保つ。
- ニ 音環境——作業場内の騒音源となる機械設備を遮音材で覆う。

97 作業中に化学物質による中毒症状を起こした際にに行う応急処置の手順のうち、誤っているものはどれか。（16年度 択一）

- イ 周囲の状況から中毒の原因となった物質を確認する。
- ロ 振発性物質・腐食性物質を誤飲し、けいれんや意識障害などの症状がある場合には、毒物を吐かせる。
- ハ ガスを吸引した場合は、きれいな空気の場所に移動させ、衣服を緩め安静にさせる。
- ニ 皮膚に付いた場合は、汚染した衣服を脱がせ、流水で水洗いし、皮膚からの吸収を抑えるとともに毒物を薄める。

【機械器具】

98 エアスプレーガンのノズルに関する記述のイ～ニの（ ）のうち、適切でないものはどれか。

エアスプレーガンのノズルは、塗料のイ(種類)、ロ(粘度)、ハ(粒子)並びにニ(希釈剤)によって交換すべきである。（18年度 択一）

99 合成樹脂塗料のうち、水溶性塗料はどれか。（16年度 択一）

- イ マスチック塗料
- ロ 塩化ビニル塗料
- ハ 酢酸ビニル塗料
- ニ フタル酸樹脂塗料

1級共通

【広告物の種類及び構造】

- 1 ×
2 ×
シートポスター広告板は材料による分類。(社団法人全日本屋外廣告業団体連合会発行「屋外廣告ハンドブック 第2版」P76,7)
7)
3 ×
4 ○
5 ニ
6 イ

口、ニは、設置位置、ハは材料による分類(社団法人全日本屋外廣告業団体連合会発行「屋外廣告ハンドブック 第2版」P75)

【広告物の素地の製作方法】

- 7 ×
8 ○
作業性、安全性、設備面、経済性からも、現場より工場での溶接が適している。(株式会社ぎょうせい発行「屋外廣告の知識第3次改訂版 設計・施工編」P179)
9 ○
10 イ
11 ニ
12 ハ

【広告物の製作図の作成方法】

- 13 ○
14 ×
15 口
16 イ
17 口

【広告物の取り付け方法】

- 18 ○
19 ×
20 イ
21 口

【広告物の安全に関する力学の基礎】

- 22 ×
建物に取り付けられた広告板に作用する地震力は、広告板とその支持構造物の重量の合計と同じ。(株式会社ぎょうせい発行「屋外廣告の知識 第3次改訂版 設計・施工編」P71)
23 × 風圧力 = 速度圧 × 風力係数
24 ハ
25 口 株式会社日本実業出版社発行「はじめての構造力学」P19,P25
26 イ

【材料】

- 27 ×
28 ○ 表面がスチール薄板なので可能。
29 ○
30 ×
31 ○
32 ○
33 ×
34 イ
35 口

- 36 イ
37 ロ
38 ニ
色光は波長の長いものから赤 橙、黄、緑、青の順であることから回答可能。緑は555～565nm。(株式会社オーム社発行「光エレクトロニクス」P77)
- 39 ハ
真鍮は銅と亜鉛の合金。(学芸出版社発行「初めての建築材料」P104)
- 40 イ
41 ニ
ニは凝結中に水が浮かび上がる現象のこと。(学芸出版社発行「初めての建築材料」P68)
- 42 ハ
43 イ

【コミュニケーションとデザイン】

- 44 ○
45 × 注目→興味→欲求→記憶→行動
46 ロ
47 ニ
48 ニ

【デザインの基礎】

- 49 ○
50 ○
51 × 語句と語句ではなく、文字と文字。
52 ×
53 ハ ハは正しくは「排斥」
54 ニ シンメトリーは、上下、左右対称、あるいは放射対称であるため均衡がとれ、安定して見える。
55 ニ

【色彩】

- 56 ○
57 ×
58 × 10Rの方が低い。
59 ○ 色相環で隣り合う色を「類似色」、向かい合う色を「補色」という。
60 ×
61 ○
62 ハ ハは、黄色みがかった見える。
63 ロ
64 ニ
65 ロ
66 ニ

【広告デザイン】

- 67 ×
68 ○
69 × CIはコーポレート・アイデンティティ(自己証明)の略、企業行動は、ビヘービア・アイデンティティ(BI)。
70 ○
71 ○
72 ロ
73 ハ ハは視認性、可読性共に落ちる。
74 イ イは機械化時代(近世～近代)

- 75 口
最低の1000倍と仮定すると、2本の間隔が分かれて見えるためには1m必要であるため、田の字を見分ける
- 76 ニ
- 77 ニ ハはフツラ

【美観風致】

- 78 ○
- 79 ×
ランドマークとは、ある地域の目印や象徴的な景観要素となるもので、地域における景観の特性を把握する上では考慮すべき要素とされている。
- 80 ○
- 81 ニ ニは景観の内容を述べている。
- 82 ニ 美観の維持とは、都市の造形美、人工美を維持すること。

【関係法規】

- 83 × 表示に際して知事の許可が必要となる適用除外物件がある。
- 84 ×
- 85 ×
- 86 ×
- 87 ニ
屋外屋外広告物が二重規制されないよう、屋外広告物は屋外広告物条例によって規制されているが、屋外広告物と景観計画との整合性をはかる目的で屋外広告物法第6条が規定されている。(株式会社ぎょうせい「屋外広告の知識 第3次改訂版 法令編」P19)

88 口

【安全衛生】

- 89 ○
ソルベントインクに有機溶剤シクロヘキサンが使用されている場合、有機溶剤中毒予防規則に基づく措置が必要。(労働安全衛生法施行令別表、有機溶剤予防規則)
- 90 ○
- 91 ○
- 92 × 1社1人ではなく、作業場を行う現場ごとに1名の作業主任者を置く必要がある。(労働安全衛生法)
- 93 ○
- 94 ○
- 95 ニ
- 96 ハ 事業者が講すべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針(H4. 7. 1労働省告示第59号)
- 97 ロ 撥発性物質・腐食性物質は吐かせると通り道となる食道などの器官をさらに傷つける。

【機械器工具】

- 98 ニ 希釀剤は粘度を調整するものであり、ノズル径との関係はない。
- 99 ハ

1級ペイント

【専門仕上げ法】

- 100 ×
- 101 ○
- 102 ○
- 103 ×
- 104 ×
- 105 ○
- 106 ×
- 107 ○
- 108 ○

1級問題 ペイント

【専門仕上げ法】

- 100 ラワン材などの目の深い木材を使用した広告面をラッカーエナメルで仕上げる場合は、下地付けはしないほうがよい。
(18年度 真偽)
- 101 木材は、木表に向かって反る性質があるので、切抜き文字の場合は、木表が裏側になるように加工する。 (18年度 真偽)
- 102 アルミニウムペイントに用いられるアルミニウム粉は、浮くように作られているリーフィング形である。 (18年度 真偽)
- 103 ゴシック筆で文字を書く場合、書きやすくするために、穂先を切りそろえるとよい。 (18年度 真偽)
- 104 ローラブラシは、塗料の含みが少ないと塗面ですべて回転しないことがある。 (18年度 真偽)
- 105 次の動物の毛はいずれも筆や刷毛の穂の原毛として一般に実用されている。
(1)馬 (2)羊 (3)いたち (4)狸 (5)りす (17年度 真偽)
- 106 プラスチック板面のひっかき傷は、高速回転バフ研磨することによって元の状態に修復することができる。
(17年度 真偽)
- 107 ビームコンパスは、大きな円を描く場合に使用する。 (17年度 真偽)
- 108 調色された塗料の原色を知るために、白色を混合して調べるとよい。 (17年度 真偽)
- 109 亜鉛引鉄板に油性ペイントを塗る場合は、下地処理をする必要がある。 (17年度 真偽)
- 110 筋違刷毛は、丸刷毛の一種である。 (16年度 真偽)
- 111 塗料の調色において、混合する色の種類を多くするほど彩度は低くなる。 (16年度 真偽)
- 112 平筆の太さは、号数が小さくなるほど太くなる。 (16年度 真偽)
- 113 塗装に使用する外部用アクリル系エマルションペイントには、有機溶剤が使われる。 (16年度 真偽)
- 114 調色の際にかくはんが不十分であると、塗膜に色むらや筋が出やすい。 (16年度 真偽)
- 115 鉄くぎの頭が見えている広告板にエマルションペイントを塗る場合は、くぎの頭にさび止め処理をする必要がある。
(16年度 真偽)
- 116 広告面として、耐久性の低いものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 鉄板に調合ペイント塗装したもの。
 - ロ アルミ板に粘着シート貼りしたもの。
 - ハ カラートンにフタル酸樹脂エナメルしたもの。
 - ニ ステンレス板に焼付塗装したもの。
- 117 塗料に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 合成樹脂エマルションペイントは、揮発重合乾燥形の塗料である。
 - ロ 合成樹脂エナメル塗料は、揮発酸化乾燥形の塗料である。
 - ハ エポキシ樹脂塗料は、硬化剤によって固化する塗料である。
 - ニ 塩化ビニル樹脂塗料は、揮発乾燥形の塗料である。
- 118 刷毛に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)
- イ 寸胴刷毛一腰が強く、主に馬毛が使われ、粘度の高いペイントや広い板面に塗装するのに適している。
 - ロ 筋違刷毛一腰の強い豚毛が使われ、ペイントやニス塗りに適している。
 - ハ 丸刷毛一毛の植込みが多く、羊毛、馬毛、豚毛などが使われ、ワニス塗りに適している。
 - ニ 平刷毛一毛先が柔らかで、羊毛等が使われ、ラッカー、水性塗装に適している。
- 119 合成樹脂エマルションペイントに関する記述として、適切なものはどれか。 (17年度 択一)
- イ 酢酸ビニル樹脂系エマルションは、アクリル樹脂系エマルションより耐候性に優れている。
 - ロ 合成樹脂エマルションペイントは酸化重合により乾燥する。
 - ハ 合成樹脂エマルションペイントの希釀剤には、水以外のものを使用してはならない。
 - ニ 合成樹脂エマルションペイントの乾燥を速やかにするには、少量のラッカーシンナーを入れるとよい。

120 横長廣告板の刷毛塗装作業における標準的な塗装方法はどれか。 (17年度 択一)

- イ 向かって右上方から塗り始めて、左下方で終わるようにする。
- ロ 真中から塗り始めて、外側で終わるようにする。
- ハ 向かって左下方から塗り始めて、右上方で終わるようにする。
- ニ 特に決め手がなく、どこから塗り始めてよい。

121 剥離作業に使用される工具として、適切でないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ ワイヤーブラシ
- ロ スクレーパー
- ハ トーチランプ
- ニ バール

122 ローラブラシの説明として、誤っているものはどれか。 (17年度 択一)

- イ ローラブラシは塗料の含みがよく、回転がスムーズなものがよい。
- ロ ローラブラシは回転運動がよく、回転がスムーズなものがよい。
- ハ ローラブラシはラッカエナメルの含みがよく、回転が自由である。
- ニ ローラブラシの手入れ、保管方法は刷毛と同じである。

123 ラッカーエナメルの刷毛塗装における希釈剤として、適切なものはどれか。 (17年度 択一)

- イ リターダシンナー
- ロ 塗料シンナー
- ハ テレビン油
- ニ アルコール溶剤

124 木製浮き出し文字の塗装仕上げで、常温乾燥しないものはどれか。 (17年度 択一)

- イ カシュー塗り仕上げ
- ロ エマルション塗料塗り仕上げ
- ハ セラックニス仕上げ
- ニ 透明うるし塗り仕上げ

125 文中の（ ）内に当てはまる語句として、適切なものはどれか。

木製廣告板の木材塗装で最も大切なことは、（ ）が不十分であると最終仕上げに影響することである。
(16年度 択一)

- イ 着色
- ロ 目止め
- ハ 素地調整
- ニ 下塗り

126 金属素材の塗料に関する記述として、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ パテ面及び上塗りの仕上がりを良くするための塗料は、サーフェーサである。
- ロ 下塗りの素地をより安定にする塗料はシーラーである。
- ハ パテとサーフェーサの両方の性能を持つ塗料は、パテサーフェーサである。
- ニ 塗装の付着性を良くする下地塗料は、プライマーである。

127 ペイント仕上げに関する記述として、正しいものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 強風の所での塗装は、乾燥が速いため作業がしやすい。
- ロ 濡気の多い所は、ペイント仕上げに適している。
- ハ 塗装には、うすめ液、溶剤を使用しないほうが、塗装面が美しく仕上がる。
- ニ エマルション塗料は、室内における塗装でも引火のおそれはない。

128 刷毛に関する記述として、誤っているものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 寸胴刷毛—腰が強く、粘度の高いペイントや広い板面に塗装するのに適し、主に馬毛が使われる。
- ロ 筋違刷毛—腰の強い豚毛が使われ、ペイントやニス塗りに用いられる。
- ハ 丸刷毛—毛の植込みが多く、羊毛、馬毛、豚毛などが使われ、ワニス塗りに適している。
- ニ 平刷毛—毛先が柔らかで、羊毛等が使われ、ラッカー、水性塗装に用いられる。

129 塗料が最も付着しやすいプラスチックはどれか。 (16年度 択一)

- イ ポリエチレン樹脂
- ロ アクリル樹脂
- ハ ポリプロピレン樹脂
- ニ ポリカーボネート樹脂

【専門以外の仕上げ法】

130 下図は、木彫看板の平彫りの断面図である。 (18年度 真偽)



131 スクリーンプロセス印刷の写真製版のスクリーンには、テトロンとナイロンが多く使用されている。 (18年度 真偽)

132 レーザー光線は、プラスチック板の切り抜きには適さない。 (18年度 真偽)

133 ガラス面に粘着シート貼りを行うときに生じた気泡は、時間が経つと自然に消える。 (17年度 真偽)

134 レーザー光線は、プラスチック板の切り抜きには応用できない。 (17年度 真偽)

135 シルクスクリーンプロセスのインクは、被写体の材質によって異なるので注意しなければならない。 (17年度 真偽)

136 スクリーンプロセス印刷をした磨耗しやすい製品には、ラミネート加工するとよい。 (16年度 真偽)

137 スクリーンプロセス印刷のための原稿には、左右反転された図形を描く。 (16年度 真偽)

138 粘着シートの接着性が最もよい被着体はどれか。 (18年度 択一)

- イ 塩化ビニル板
- ロ カラー鉄板
- ハ ガラス板
- ニ 亜鉛鉄板

139 エアスピレーガンの使用直後の手入れに関する記述として、適切でないものはどれか。 (18年度 択一)

- イ 洗浄液をスプレーし、塗料通路を洗浄する。
- ロ 空気キャップの先端部をブラシで洗浄する。
- ハ 先端部、調整部を分解し、注油、組立てを行う。
- ニ 空気キャップをはずし、塗料ノズルをブラシで洗浄する。

140 金属素材に塗る下地剤に関する記述として、誤っているものはどれか。 (18年度 択一)

- イ サーフェーサーは、パテ面及び上塗りの仕上がりを良くするためのものである。
- ロ シーラーは、下塗りの素地をより安定させるものである。
- ハ パテサーフェーサーは、パテとサーフェーサーの両方の性能をもつものである。
- ニ プライマーは、塗装の付着性を良くするものである。

141 立体造形に関する記述中のイ～ニの()のうち、誤っているものはどれか。

イ(自己消火性)のロ(難燃発泡スチロール)で造形し、ハ(硬質ウレタン樹脂)で表面をコーティングした立体造形は、従来のFRPよりもニ(堅固)で、安価軽量である。 (18年度 択一)

142 かつら材の浮出し文字に反りを生じさせないための製作時の方法として、正しいものはどれか。 (17年度 択一)

- イ かつら材の木表を表面にする。
- ロ かつら材の木理のよい方を表面にする。
- ハ かつら材の木裏を表面にする。
- ニ かつら材の乾燥が70%以上であれば、表裏どちらでもよい。

143 鉄板製広告板にメラミン樹脂塗料を焼き付ける場合の加熱温度として、適切なものはどれか。 (17年度 択一)

- イ 50°C
- ロ 120°C
- ハ 320°C
- ニ 450°C

144 プラスチック広告板製作工具のうち、曲線切りができないものはどれか。 (16年度 択一)

- イ ジグソー
- ロ ランニングソー
- ハ ハンドルータ
- ニ レーザーカッターマシン

145 粘着シートの接着強度が最も良い被着体はどれか。 (16年度 択一)

- イ 塩化ビニル板
- ロ カラー鉄板
- ハ ガラス板
- ニ 亜鉛引鉄板

146 広告板の製作・施工に関する記述として正しいものはどれか。 (16年度 択一)

- イ 広告板の鉄骨枠の上に鉄板を張る場合は、内部からさびや汚れが広告面に現われないように、下の方から上へ張りつけていく。
- ロ 広告面の塗装で塗り重ねるとき、下層の塗膜が十分硬化乾燥していないと、ちぢみやつやむらを生ずる。
- ハ 新しい平筆でゴシック体の文字を描く場合は、描きやすくするために筆の穂先を切り揃えるとよい。
- ニ 広告板の取付けで、建築中の壁面にアンカボルトを内部から固定する作業をホールインアンカという。

- 75 口
最低の1000倍と仮定すると、2本の間隔が分かれて見えるためには1m必要であるため、田の字を見分ける
- 76 ニ
- 77 ニ ハはフツラ

【美観風致】

- 78 ○
- 79 ×
ランドマークとは、ある地域の目印や象徴的な景観要素となるもので、地域における景観の特性を把握する上では考慮すべき要素とされている。
- 80 ○
- 81 ニ ニは景観の内容を述べている。
- 82 ニ 美観の維持とは、都市の造形美、人工美を維持すること。

【関係法規】

- 83 × 表示に際して知事の許可が必要となる適用除外物件がある。
- 84 ×
- 85 ×
- 86 ×
- 87 ニ
屋外屋外広告物が二重規制されないよう、屋外広告物は屋外広告物条例によって規制されているが、屋外広告物と景観計画との整合性をはかる目的で屋外広告物法第6条が規定されている。(株式会社ぎょうせい「屋外広告の知識 第3次改訂版 法令編」P19)

88 口

【安全衛生】

- 89 ○
ソルベントインクに有機溶剤シクロヘキサンが使用されている場合、有機溶剤中毒予防規則に基づく措置が必要。(労働安全衛生法施行令別表、有機溶剤予防規則)
- 90 ○
- 91 ○
- 92 × 1社1人ではなく、作業場を行う現場ごとに1名の作業主任者を置く必要がある。(労働安全衛生法)
- 93 ○
- 94 ○
- 95 ニ
- 96 ハ 事業者が講すべき快適な職場環境の形成のための措置に関する指針(H4.7.1労働省告示第59号)
- 97 口 挥発性物質・腐食性物質は吐かせると通り道となる食道などの器官をさらに傷つける。

【機械器工具】

- 98 ニ 希釀剤は粘度を調整するものであり、ノズル径との関係はない。
- 99 ハ

1級ペイント

【専門仕上げ法】

- 100 ×
- 101 ○
- 102 ○
- 103 ×
- 104 ×
- 105 ○
- 106 ×
- 107 ○
- 108 ○

- 109 ○
110 ×
111 ○
112 ×
113 ×
114 ○
115 ○
116 イ
117 イ
118 口
119 ハ
120 イ
121 ニ
122 ハ ローラブラシではラッカーを使用しない。
123 イ
124 ニ
うるしは十分な湿度がないと乾燥しない。これは主成分のウルシオールが酸化重合反応をして、塗装が硬化乾燥をするが、この時に湿気が反応の働きを助けるため。
125 ハ
126 ニ
シーラーは、下塗り前に塗布し、上塗り塗料の吸い込みを防ぎ塗りやすくし、素地と塗料の密着力を高める。
127 ニ
128 口
筋違刷毛は、腰が強く塗料の含みの良い馬毛などを使って作られている。ペイント用で隅や内部の塗装に適している。(朝倉書店発行「技術シリーズ 塗装」)
129 口

【専門以外の仕上げ法】

- 130 × 図はかまぼこ彫り。
131 ○
132 × 平滑・綺麗に仕上がる。
133 ×
134 ×
135 ○
136 ○
137 ×
138 イ
139 ハ
140 口
141 ニ 素材が発泡スチロールなので、FRP樹脂より堅固さに劣る。
142 ハ 木理とは木目のよい方向なので、反りとは関係ない。
143 口
144 口
145 イ
146 口

1級シート

【専門仕上げ法】

- 147 ○
148 ×
149 ○